

う

これは甚だ結構なことであるが、しかし斯かることは嚴密に眞理であり得るであらうか、醫者の診斷といふものは決して感覺的の辨別にのみ依つて居るのでないことは言ふまでもないことである。感覺の微細なる辨別をさへなし得るに至つたならば、それだけで、我々は思ひ違ひ、考違ひを避けることが出来るであらうか、美學及び倫理的鑑賞と感受性との關係は女史の言ふ如く爾く簡單であらうか、甚だ疑はしいのである。現代の心理學は爾く撲素な感覺論には極めて些少の支持を與へるに過ぎないのである。

近 刊 紹 介

○高橋穰氏著『心理學』

どの學問でも一通り精しく學ばなければ理解も興味も起らないものであるが、心理學に於て殊に

そうである。所謂我國の教科書風に簡略な書き方をした心理學位讀んで益のなく味のないものはない。しかし又、餘り精し過ぎ専門的過ぎる本は、初學の人には適當しない。心理學を讀まうといふ人が近來非常に多に拘はらず、薦めるに適當な書物の少ないとは常に遺憾とする處であつた。殊に吾人が初學の人に先づすゝめ度い心理學は、初めから應用的方面を主にしたものよりも、心理學の一般概念を包括的に全般的に説かれたものを必要とする。つまり、心といふ廣い問題の解釋に近づいて行く一つの重要な入口として、心理學の組織的論述を知る必要があるのである。こうなると一層適當の書が少なかつた。應用を主とすれば比較的通俗に分り易く書けるが、心理學の組織を主にしては、どうしても六かしくなり易いからである。然るに高橋文學士の『心理學』は吾人の此の要求に向つて、頗る適切な満足を提供して呉れた。此の書は哲學叢書の第十二篇として著はされたも

ので平易を主とする中にも學問的威嚴といふことを充分保持せられて居る。此の書の讀者は先づ其の點に於て快感を感じるであらう。そして、心理學は役に立つものだといふこと、共に、學問としての興味を深く感ずるであらう。彼の粗略な心理學教科書風の知識に止まつて、折角の心理學の眞の興味を充分に解し得ないで止まつて居る諸君に向つて、吾人は是非此書の熟讀をすゝめる。

諸君の教育の一基礎としての心理學が教科書式の心理學一冊では餘りになさけない。せめて此書位の程度に進まなければならぬ。(東京神田岩波書店發兌一圓二十錢)

○水田光氏著『お話の實際』

さきに『お話の研究』を著して、斯界に一大貢獻をせられた水田光子氏は其の姉妹篇として『お話の實際』を著はされた。前著の價値に就ては當

時本誌上に數頁を費して大に推賞した通りである『お話の實際』は其の主旨を基として著者の新作改作のお話及び傳來のお話中の撰擇を蒐集したものである。而して此書の價値はお話そのものよりもそのお話の解説にある。之れ實に著者の新考案に基くものであつて、こゝ迄進んだ時にお話の研究が、實に一般的抽象的理論的態度から、具體的なものになるのである。此の意味に於て吾人は著者の此の親切なる試みを最も有益なるものと思ふ。

此書に集められたるお話は、必ずしも皆幼兒期に適當なものとは言へない。之れは此の書の性質上當然のことである。しかし保姆諸君は、幼稚園に用ゐらるゝと否とに拘はらず此書を精讀する必要がある。即ち前述の如く此書は單なるお話の資料を供するものではなくて、具體のお話をもとせ研究であるからである。その研究をせる解説の部が此書の著はされた所以であるからである。

(東京京橋區大日本圖書株式會社發定價一圓七錢)